

# アメリカでの留学体験レポート

国際文化学科 2年 水内 俊貴

アメリカでの4カ月でたくさんを経験して日本とアメリカの違いからたくさんの良い影響を受けてきました。はじめはその違いに驚き、すべて不慣れな英語でやっていかなくはいけなかったのも自分から進んで挑戦していくことに対して臆病になっていました。しかし、現地の先生のアドバイスや英語を使ったり、アメリカの文化に触れたりする機会をたくさん作ってくださったことによりすぐにはいきませんでした。アメリカでの生活に慣れていき様々なことに挑戦していくことができました。本当に忙しい日々でしたがとても充実していました。

このアメリカ留学を通してたくさんの人とかかわり、たくさんの体験をしてきました。アメリカでの日々は毎日が新鮮でたくさんの刺激を受けました。アメリカの大学と日本の大学との違いに驚き、ルームメイトは新潟国際情報大学の生徒でしたが寮での共同生活や毎日英語に触れる日々、様々な文化、国籍を持つ人たちとの交流で触れた相手の持つ文化、アメリカの伝統的な風習やお祭り、とても親切にしてくれた先生方や友人、ホームステイ先の家族。本当にたくさんの貴重な経験をするのができ、非常に濃い4カ月でした。自分自身とても成長できたと感じています。この経験ができたのもアメリカの大学と友好関係を築いて、様々な面で支えてくださった新潟国際情報大学の先生方、つらいとき、不安な時も一緒にさえあった仲間たち、金銭面の援助と日本から送り出してくれた両親のおかげだと強く感じ、周りの環境に助けられてばかりだと感じています。たくさんの人とかかわり様々な影響、経験を受ける日々で自分は多くのことを与えられたと感じています。しかしその反面、自分は関わってきた人たちにたくさんの良い影響や経験をあげることができず与えられるだけではなかったのかと心残りです。それくらい私の人生の中で非常に濃い4か月間だったと思っています。